

6月12日から26日までの15日間井原市議会が開催されました。森本市議は今回の質問で平成元年から連続113回目の質問になり、この度の6項目を加えると、質問項目は総計で704項目になりました。

井原市長選・市議選

入場券 告示前発送を考える

森本ふみお市議は、井原市議会6月定例会の質問で「このたびの井原市議会議員選挙で、有権者に配られる入場券の配達が非常に遅かったことで、多くの方から苦情を聞きました。

今後の各種選挙では入場券配達が遅くなるようなことがないようにしなければなりません。今後何をどうすれば改善できるとお考えでしょうか。」と質問しました。

井原市選挙管理委員会事務局長の妹尾氏は「今後の入場券の発送については、公職選挙法の規定を踏まえたうえで選挙ごとに選挙管理委員会で協議をし、発送を早めるか否かを決定したいと考えています。

特に身近な選挙である市長選挙、市議会議員選挙につきましては、有権者の関心が高く、期日前投票の期間が6日間と短いため他市の状況も勘案し、告示日前の発送について弾力的に判断していきたい。」と答えました。

森本市議の質問後中国新聞で「市選管によると、県内15市のうち井原市を除く14市で市長・市議選の告示前に発送している」と報道されていました。

したがって、平成30年9月執行予定の井原市長選からは、立候補状況を見極めながら、入場券は告示前に発送される見通しになりました。



質問する森本市議(井原放送より)

井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください

井原市議会平成29年9月定例会の開会予定日は9月4日(月)です。皆様の井原市政に対するご意見・ご要望をお近くの党員か下記の電話・FAXにお気軽にお寄せください。皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう、引き続き奮闘したいと考えています。

日本共産党後援会事務所 TEL62-6200 FAX 62-6209
森本ふみお宅 TEL62-6061 FAX 62-6081

この「後援会ニュース」は、森本ふみお市議の
ブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見るすることができます。

周りの人に「日本共産党森本ふみお後援会」への入会をお勧めください。

日本共産党はこう考えます

しんぶん赤旗
7月4日付
「主張」より

都議選の審判

安倍暴走への深い怒り示した

東京都議選は、自民党が過去最低の23議席という大惨敗を喫する結果となりました。日本共産党は現有17議席から19議席へ上積みする重要な躍進を果たしました。支持候補1人の当選も実現しました。かつてない大激戦の中、ご支持、ご支援いただいたみなさんに心から感謝申し上げます。

自民党が前回議席の半分にも届かない歴史的な大敗に追い込まれたのは、民意に反する暴挙を重ねる傲慢（ごうまん）極まる安倍晋三政権に都民が「もう我慢できない」と怒りを爆発させた結果にほかなりません。安倍政権に政治を担う資格がないことはいよいよ明白です。

定数5でも自民空白に

首都の有権者が安倍政権に突き付けた「ノー」の審判はまさに衝撃的です。自民党の都議会の最低議席は1965年と2009年の38議席でしたが、今回はそれから15議席も下回りました。定数1を争う選挙区では、島しょ部以外は全敗でした。自民が独占していた定数2の選挙区をはじめ、定数3～5でも相次いで自民空白区が生まれました。衆参両院で単独過半数を持つ政権党が、首都の議会で第1党の座からいっきに滑り落ちる一。怒りのうねりの広がりを強烈に見せつけました。

「加計」「森友」疑惑に象徴される、自分の親しい者を優遇するため行政をゆがめる「国政私物化」、先の通常国会での「共謀罪」法強行のような「数の力」を振りかざした民主主義破壊、国民が願ってもいない9条改憲へ前のめりの異常なタカ派ぶり…。選挙中、大問題になった稲田朋美防衛相の「自衛隊として」選挙応援発言は、安倍政権のおごり高ぶる危険な体質を際立たせたものでした。積もり積もった安倍政権への国民の怒りと不信の深さ、この政権の体質への嫌悪感などが投票ではっきり示されたことは明らかです。



国政でも都政でも、自民党に最も厳しく対決してきた日本共産党が17議席から19議席へ議席を伸ばしたのは、安倍政権への都民の怒りを真正面から受け止める確かな存在として大きな期待が寄せられたためです。「自民党を懲らしめたい」「今度ばかりは共産党だ」。こんな声が宣伝や対話のなかで数多く聞かれました。他の政党や無所属の議員などから「平和と福祉の共同候補」として共産党候補者への支援をいただいたことは、新たな情勢の変化を浮き彫りにしています。これらの共同の力などが重なり合い、多くの選挙区で、共産党候補は自民党候補に競り勝ち、自民の議席を劇的に減らす上で大きな力を発揮したことは重要です。

都政の大争点の市場移転問題で、「豊洲移転中止・築地現在地再整備」を公約した共産党の議席が伸びたことを小池百合子知事は直視すべきです。共産党は「食の安全・安心」「築地ブランド」を守るために全力をあげるとともに、大型開発優先の都政を暮らし優先に切りかえるため、都民と力を合わせてさらに力を尽くす決意です。

解散・総選挙で信を問え

安倍首相は首都の審判の結果を受け止め、臨時国会を開催するとともに、9条に自衛隊を書き込む自民改憲案づくりを断念すべきです。国政私物化、憲法破壊の政治を続けさせるわけにはいきません。市民と野党の共闘をすすめる解散・総選挙を実現して安倍政権に審判を下すことが必要です。

ご意見・ご要望および情報をお気軽にお聞かせください。